



議会だより

令和2年11月1日



秋空に燃ゆる彼岸花(上延生)

主 な 内 容

	ページ
9月定例会の概要	2~7
一般質問	8~11
ちょこっとまとめ知識	12
聲<こえ>私のいいたいこと	13
議会日誌・編集室	14

□編集/芳賀町議会広報常任委員会

□発行/芳賀町議会

〒321-3392 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020

電話 028(677)6023 FAX 028(677)6057

芳賀町議会ホームページ

<http://www.town.tochigi-haga.lg.jp/menu/torikumi/gikai/index.html>

固定資産評価審査委員会委員に関本一雄氏 教育委員会委員に黒崎厚央氏を再任



令和2年 第7回 芳賀町議会 定例会

定例会の概要

令和2年第7回芳賀町議会定例会が9月1日から11日までの11日間の会期で開催されました。

第1日目は全議案を上程し、町長から提案理由の説明を受け、監査委員から決算審査の報告を受けました。また、専決処分等の報告、同意案件、発議案件の採決を行いました。

一般質問は、第3日目に行われ、3人の議員が町政について質問しました。

第4日目に令和元年度決算を除く議案の質疑・討論・採決を行い、第7日目に令和元年度の決算についての質疑を行った後、決算審査を常任委員会に付託し、第9日目まで決算審査を行いました。

最終日に令和元年度決算を原案どおり認定し、閉会しました。



同意

□芳賀町固定資産評価審査委員会委員の選任について

令和2年10月31日付けをもって任期満了となる関本一雄氏（上延生）を引き続き、最適任者として選任することを議員全員が同意しました。



▲関本一雄氏

□芳賀町教育委員会委員の任命について
令和2年9月30日付けをもって任期満了となる黒崎

厚央氏（芳志戸）を引き続き、最適任者として任命することを議員全員が同意しました。



▲黒崎厚央氏

承認

□専決処分等の承認を求めることについて（令和2年度芳賀町一般会計補正予算（第6号））

総額に730万円を追加し、予算総額を120億3940万円とするもの。
（質疑・討論なし、原案承認）

報告

□専決処分等の報告について（損害賠償の額の決定について）

稲毛田地内において、認定外道路の側溝蓋に相手方の車両が乗り上げ車両の一部を破損したものに對して損害賠償額を決定したものは1万2760円で全国町村会総合賠償保険で対応した。
（質疑なし）

□公益財団法人芳賀町農業公社の経営状況説明書の提出について

□芳賀町ロマン開発株式会社の経営状況説明書の提出について
両法人の経営状況を説明するため、令和元年度の事業実績及び決算を報告するもの。
（質疑なし）

□令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率について
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、監査委員の意見を付して報告するもの。
（質疑なし）

条例改正

□特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

投票立会人の交替制を導入するため、報酬を日額から立会った時間に応じて支給できるように、条例の一部を改正するもの。
（質疑・討論なし、原案可決）

を改正するもの。
〔質疑〕北條勲議員
（討論なし、原案可決）

□芳賀町保育の必要性の認定に関する条例の一部改正について

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、条例中の語句を改めるもの。
（質疑・討論なし、原案可決）

□芳賀町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部が改正されたことから、同様の措置を講じるため、条例の一部を改正するもの。

令和元年度決算を認定

〔質疑・討論なし、原案可決〕
 □芳賀町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことから、同様の措置を講じるため、条例の一部を改正するもの。
 (質疑・討論なし、原案可決)

〔質疑・討論なし、原案可決〕
 □工事請負契約の変更について(芳賀変電所受変電設備工事)
 令和元年第4回定例会において議決した芳賀変電所受変電設備工事の契約額を2億9568万円から1481万7千円増額し、3億1049万7千円とするもの。
 (質疑・討論なし、原案可決)

〔質疑・討論なし、原案可決〕
 □財産の取得
 □財産の取得について(溝ノ目地区及び中継レールの購入)
 ○契約金額
 5151万9380円

○契約相手方
 東京都港区東新橋1丁目9番2号
 三井物産プラントシステム株式会社
 交通システム本部 本部長 高柳 研二氏
 (質疑・討論なし、原案可決)

〔質疑・討論なし、原案可決〕
 □財産の取得について(芳賀町立3小学校厨房機器の購入)
 ○契約金額
 1490万5千円
 ○契約相手方
 栃木県宇都宮市江曾島町3-31
 日本調理機株式会社
 栃木営業所所長 鮭川 正己氏
 (質疑・討論なし、原案可決)

〔質疑・討論なし、原案可決〕
 □新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について
 地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくために、地方税財源の確保を求めるもの。
 (質疑・討論なし、原案可決)

補正予算
 □令和2年度芳賀町一般会計補正予算(第7号)
 総額に1億9704万5千円を追加し、予算総額を122億3644万7千円とするもの。
 (質疑) 石川保議員、岡田年弘議員、北條勲議員、山口菊一郎議員
 (討論なし、原案可決)

□令和2年度芳賀町介護保険特別会計補正予算(第2号)
 保険事業勘定の総額に4260万5千円を追加し、予算総額を15億3940万5千円とするもの。
 (質疑・討論なし、原案可決)

□令和2年度芳賀町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 総額に660万円を追加し、予算総額を3億1260万円とするもの。
 (質疑・討論なし、原案可決)

令和元年度各会計決算の状況

会計別		歳入	歳出
一般会計		86億692万4千円	77億5,415万1千円
国民健康保険特別会計		19億5,339万円	19億700万6千円
後期高齢者医療特別会計		1億7,104万6千円	1億6,604万6千円
介護保険特別会計	保険事業勘定	15億1,593万円	14億4,068万8千円
	介護サービス事業勘定	487万6千円	280万4千円
芳賀工業団地排水処理センター特別会計		5,463万9千円	4,827万1千円
公共下水道事業特別会計		3億1,903万9千円	3億189万7千円
農業集落排水事業特別会計		1億8,143万8千円	1億7,923万5千円
宅地造成事業特別会計		2億6,471万6千円	2億2,087万9千円
計		130億7,499万5千円	120億2,097万7千円

認定
 □令和元年度芳賀町一般会計、芳賀町国民健康保険特別会計、芳賀町後期高齢者医療特別会計、芳賀町介護保険特別会計、芳賀工業団地排水処理センター特別会計、芳賀町公共下水道事業特別会計、芳賀町農業集落排水事業

特別会計及び芳賀町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
 「便利をつなげる」「教育をつなげる」「話題をつなげる」「笑顔をつなげる」「地域をつなげる」の5つの分野に分けられた事業が実施されました。(詳細は45ページに掲載)

最小の経費で最大の効果を

願います。 小の経費で最大の効果を生み出すことができるようにお

められたものと思えます。 令和2年度も普通交付税の不交付団体になりましたが、今後のLRT整備事業や芳賀第2工業団地造成、土地改良事業等の大規模事業の進行に伴い、地方債残高の増加及び基金残高の減少が見込まれており、さらには、自然災害の多発や新型コロナウイルス感染症などによる社会情勢の悪化を憂慮しますと、財政的に余裕があるわけではないことを改めて認識し、歳入の確保に努め、最小の経費で最大の効果を生み出すことができるようにお

た。 借入金である地方債の残高は、一般会計と3つの特別会計（農業集落排水・公共下水道・宅地造成）を合わせて約44億1756万円でした。年々計画的な減少が見られ、執行部の運営の姿勢と努力の跡が見受けられ、令和元年度の予算執行も健全財政を堅持された町政経営が進められたものと思えます。

率は該当なし。資金不足比率も該当はありません。なお、自主財源比率は70.8%です。 財政の根幹をなす町税については、企業業績等の好調により昨年度から約1億1325万円増の48億6732万円の収納となり、対前年比2.4%の増収となりました。

本町の財政は、比較的健全に運営されており、各種事業等歳出についても、計数的な過誤もなく、適切で誠実に執行されていきました。また、第6次芳賀町振興計画の4年目として令和元年度の重点施策について事業内容等を確認した結果、おおむね計画どおり良好に執行されていきました。

本町の令和元年度単年度財政力指数は1.053、健全化判断比率は、実質公債費比率2.1%、その他の判断比



▲小林一男監査委員



▲樋田貞夫代表監査委員

令和元年度末の町債(借入金)と基金(貯金)の状況(一般会計分)

※令和2年4月1日の人口15,664人で算出。千円未満は四捨五入。

町債残高
17億4,799万5千円
町民一人あたり
約11万2千円



基金残高
26億5,208万5千円
町民一人あたり
約16万9千円

令和元年度に実施した

**5つの
「つなげる」の
主な事業**

便利



教育



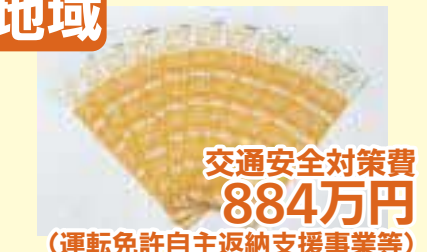
話題



笑顔



地域



令和元年度決算の主な質疑

大根田周平議員

問 基金で土地を所有しているが、どの辺を取得したのか。また、その目的は。

答 企画課長 場所については、旧芳賀高校北の田畑です。祖陽が丘住宅団地造成工事の用地とするため、平成29年に取得したものです。

江間田信一議員

問 土木費の予算に対する執行率が39・7%と低い。その理由は。

答 建設産業部長 LRT事業において、契約した企業地内にある支障物件の移設等に時間を要したこと。また、県に委託している道路工事の発注に遅れが生じ、翌年度への繰り越し工事となったためです。

大根田弘議員

問 シルバー人材センターの会員登録数、仕事受注について問う。

答 住民生活部長 会員登録数は令和元年度末で173人です。仕事受注については、公共事業に係るもの202件、一般企業等から130件、個人家庭から843件、独自事業で1件の合計1176件です。

北條勲議員

問 プレミアム付き商品券事業の不用額が759万5千円あるがその理由は。

答 企画課長 消費税の増税対応に発行したプレミアム付商品券に係る経費で、最大購入可能な件数で予算を計上しました。実際には、そこまで購入が伸びなかったため不用額が出ています。

中村由美子議員

問 時間外勤務手当について、前年度比で約1500万円の増となっているがその理由は。

答 総務企画部長 平成30年度にはなかった選挙関係事務で917万円、その他は、総務課で会計年度任用職員制度導入のために人手を要した、税務課で職員が中途退職したが、その後の人的配置等ができなかった、農政課等で北部第2地区、稲毛田地区のほ場整備のとりまとめに時間がかかった等が主な理由です。

小林隆志議員

問 芳賀チャンネルを週1回見る割合が年々下がっているが理由は。

答 企画課長 毎年度実施している視聴者アンケートの結果の数字です。対象者があまり多くないことから、年度間の差が出てしまうのが現状です。今年度はコロナ禍により行事等が中止となっていますが、少しでも芳賀チャンネルを見ていただきたいと思っています。

岩村治雄議員

問 旧稲毛田小学校に文書保管ラック(676万5千円)を購入しているがこの内容について問う。

答 総務企画部長 行政文書を役場内、総合情報館2階、与能小学校に分けて保存していましたが、一か所にまとめた方が効率的ということでラックを購入し旧稲毛田小学校に設置したものです。6段重ねの棚96基で、箱数にして3672箱置く容量があり、概ね20年程度は保管できると見えています。



常任委員会予算審査



総務・教育民生・産業建設常任委員会は9月7日から9日まで、令和元年度一般会計及び特別会計決算の書類審査と現地調査を行いました。

各委員会は、9月11日の本会議において意見を付して決算を認定しました。

付託内容

総務

- ・一般会計中、他の常任委員会の所管に属さないすべての歳入歳出

教育民生

- ・一般会計中、教育民生常任委員会の所管に属する歳入歳出
- ・国民健康保険特別会計歳入歳出
- ・後期高齢者医療特別会計歳入歳出
- ・介護保険特別会計歳入歳出

産業建設

- ・一般会計中、産業建設常任委員会の所管に属する歳入歳出
- ・芳賀工業団地排水処理センター特別会計歳入歳出
- ・公共下水道事業特別会計歳入歳出
- ・農業集落排水事業特別会計歳入歳出
- ・宅地造成事業特別会計歳入歳出

総務 常任委員会



委員長 大根田周平
副委員長 江間田信一
委員 小林 信二
委員 小林 俊夫

書類審査 (9月8日)

総務課、企画課、税務課、会計課、議会事務局、監査委員事務局

現地調査 (9月9日)

祖陽が丘住宅団地、旧稲毛田小学校、両郡橋（五行川）、宮田上橋（野元川）、消防センター（3-3）

審査の意見または特に留意すべき事項

戦後最大の危機といわれる新型コロナウイルス感染症拡大は、社会的距離を確保しながら、仕事、学び、くらしを続けなければならない、社会のあり方について改革が求められている。また、感染拡大で見えてきた社会の仕組みや価値観の変化に伴う、ライフスタイルの変化にも対応できるようなICTの活用が求められるところである。

このような中において、国はピンチをチャンスに捉え、経済を再起動するため、官民データを活用し、社会変革の原動力とするデジタル強靱化を強力に推進している。本町においても、少子高齢化の進展等への対応をするためデジタル化・オンライン化の障害となる制度を見直し、デジタル強靱化社会の実現を目指し積極的に事業を推進されたい。

教育民生 常任委員会



委員長	小林 一男
副委員長	岡田 年弘
委員	大根田 弘
委員	有坂 隆志
委員	中村由美子

書類審査 (9月7日、8日)

住民課、環境対策課、健康福祉課、子育て支援課、学校教育課、生涯学習課

現地調査 (9月9日)

総合情報館、生涯学習センター、芳賀中学校

審査の意見または特に留意すべき事項

- ①子どもに関する支援については、妊娠出産事業から始まり、子育て支援、医療費助成、虐待予防等各課において適正に実行されていた。今後、担当課にとどまらず部・課を超えた連携を強化し、より良い子育て環境づくりを図られたい。
- ②文部科学省のGIGAスクール構想により、当町でも、小中学校のICT機器整備が加速している。端末機種選定にあたり、使い勝手、OSのセキュリティーや堅牢性を考慮した点は評価できる。今後はソフトウェアを活用した授業のあり方の研鑽を重ね、財政が厳しくなる中、国・県の助成を活用しながらICTを使った学びの最善実現に努められたい。

産業建設 常任委員会



委員長	北條 勲
副委員長	山口菊一郎
委員	小林 隆志
委員	岩村 治雄
委員	石川 保

書類審査 (9月8日)

農政課、商工観光課、建設課、都市計画課

現地調査 (9月9日)

祖母井中央地区(旧真岡信用組合跡地)、芳賀工業団地排水処理センター、LRT工事(谷津地区)、打越新田地区農道舗装工事、金井島線歩道整備工事

審査の意見または特に留意すべき事項

- ①芳賀町商工会に管理を委託している商業集積地は13年が経過している。地元商工会員の出店者の家賃設定はリーマンショック以前に決定されたものであり、その後の地方経済は疲弊したままである。更に、新型コロナウイルスの影響により出店者の家賃負担は、現状に合わず経営を圧迫しているため、家賃等の見直しを検討されたい。
- ②芳賀工業団地排水処理センターは31年が経過し、機械等の修繕は基金を取り崩して対応している。今後は、新たな工業団地内の使用も見込み施設等の更新が必要なため、使用料の改定などを含めた財政計画による計画的な整備を検討されたい。

ここが聞きたい 3人の議員が一般質問

一般
質問

第3日目に一般質問が行われ、3人の議員が町政について質問しました。



中村 由美子 議員 (9ページ)

- ① 新型コロナウイルス感染症対策のこれからについて
- ② サイクルツーリズムについて



山口 菊一郎 議員 (10ページ)

- ① 農業の振興方針について



江間田 信一 議員 (11ページ)

- ① LRT導入に伴う今後の対応について

次回の定例会は
11月30日からの予定です。

ただ今、多人数の傍聴受け入れは自粛
させていただいております。
議会は、はがチャンネルでも放送します。

放送時間

会議当日 午後8時から
再放送 翌日の午後2時から



一般質問とは



一般質問は、定例会において行われ、議員が町の
行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、
所信の表明を求めるものです。質問する議員も、受
ける執行機関もともに十分な準備が必要なことから、
通告制とされています。

質問時間は、1人につき質問・答弁を含め60分以
内とされていますが、今回は新型コロナウイルス感染症予防
のため、30分以内で行いました。



中村由美子が問う 新型コロナウイルス感染症対策の これからを問う!

問 新型コロナウイルス第2波の中、対応策が多方面において必要となる。

①台風時期を迎えコロナ対策と家族構成に配慮した避難所の運営は、
②インフルエンザ同時流行の対応策は。

答 町長

①町対策本部では、コロナ対策を踏まえ、避難所運営マニュアルを準備し、図上訓練や避難所運営研修を行い、自主防災組織運営の臨時避難所との合同防災訓練の実施も予定しています。家族構成にも配慮した避難所運営を検証し、よりよい避難所環境を提供できるよう努めていきます。
②同時流行は、医療機関の混乱と、地域医療の崩壊を招く可能性があります。芳賀郡市医師会からの要望もあり、

町民の健康維持と医療崩壊の防止のため、今年度はインフルエンザ予防接種助成対象を全世代に拡大します。多くの町民の方に接種していただければと考えます。

問

国の防災基本計画に「避難所の運営における女性の参画を推進する」とある。多様な視点を取り入れた防災体制の確立、また各避難所に対応したマニュアルも必要ではないか。
答 総務企画部長 指
定避難場所にはコロナの関係もあり、保健師を配置するなどの対応を図っていくことで準備を進めています。マニュアル等についても使いやすいような形で設置していきます。

サイクルツーリズムの考えは?

問 県では2024年度までに県全体に5ルート程度のサイクルルートを設置予定。町ではサイクルスポーツマナジメント株式会社と連携協定を結び地域活性化につなげるとしている。

①既存のサイクルロードの整備は。
②県東地域のサイクルルート情報は。
③LRT車両の自転車持ち込みについて。

答 町長 ①五行川に14km、野元川に4kmの合計18km整備されています。

②栃木県自転車活用推進計画が策定され、道路整備や交通安全活動の他、健康や観光など新たな視点を加え計画されています。現段階では県東地域は示されていませんがグルメや観光スポットを巡るルートが検討されると思います。
③宇都宮市・宇都宮ライトレール株式会社とともに利便性の向上と安全確保の両面から検討を進めていきます。

問 連携協定を結び今後の展開は?

答 企画課長 現在、協定先チーム宇都宮ブリッヂから、安全教室・健康づくり・補助輪の卒業教室などの提案をされているが、コロナの影響で実施の見通しがたない状況です。今後イベント等を通じ自転車への興味、安全意識を高めるとともに、町内でのブリッヂの認知度向上を含め事業展開をしていきます。





山口菊一郎が問う
農業の振興方針について

問 今年度中期基本計画が策定された。

それを踏まえ、今後の農業振興方針について伺う。委託農家が増加する中、受託農家育成についてどう進めるのか。就農者へのサポート事業、法人化の促進の具体的な計画は。

答 町長 就農者へのサポート事業は、

県とも連携しながら就農段階や経営開始時の収入を確保する農業次世代人材投資事業などを活用しつつ、就農者へのサポートを実施しています。今後は農業委員会、農業公社との連携による農地の確保、県農業振興事務所との連携による技術、経営指導を通じ、認定農業者への誘導を指し支援します。法人化の推進については、まずは地域農業のリーダー的

役割を果たす意欲的な農業者を育成し、そのリーダーを核として生産組織を育成することが重要です。そのため

にも、町農業公社、栃木県農地バンクを活用し、農地の集積、集約を進めながら、国・県の支援制度を活用し法人化への誘導を目指します。

問 農地保全との観点から耕種作物の推進も不可欠と思うが、

所得向上対策と合わせどのように進めるのか。

答 町長 本町の農業経営体の特徴として、園芸作物だけではなく、耕種作物の経営に取り組み農業者が多いことが挙げられます。今後米価の下落などの要因から飼料用米等への転換が求められる中、新たに露地野菜な

どの園芸作物も加えた複合経営に取り組み農家を支援していきたいと思えます。

問 稲毛田地区ほ場整備における梨団地

以外に法人による園芸作物栽培が計画されているがその内容は。

答 町長 稲毛田地区ほ場整備事業は高収益作物導入と、農地中間管理事業を活用した農地の集積、集約による農業者所得向上と農地の有効活用を図ることを目的としています。事業エリアは約21ヘクタールで梨団地が5ヘクタール、残り16ヘクタールは高収益作物を作付けする予定です。詳細については今後、土地改良区営農検討部会で検討しますが、

地元の担い手に優先的に集約し、残りは農業

法人三井不動産ワールドファーム株式会社が受託する予定です。

問 「芳賀町ブランド作り」において、

地域特性を生かした農作物づくりとあるが、

具体的な計画は。併せてこれらに取り組み農業者、団体への支援計画はあるのか。また、先に創出した「キューブ米」の販売状況は。

答 町長 主要作物である米については、「芳賀町新ブランド米検討会」を設置し、食味にこだわった米作り、新品種の導入や拡充など多岐にわたって芳賀町米のブランド力向上のため検討を行っています。食味にこだわった安心・安全な米作りに取り組み意欲ある生産者の育成を目指します。「キューブ米」につ



▲キューブ米

いては、令和元年度は4000個、1200キロ分を配布し、好評を得ています。現時点では販売はしていませんが、今後は芳賀町ブランドとして販売を検討していきます。また、ふるさと納税返礼品については、現在「芳賀のめぐみ」の3キロ、5キロ、10キロを用意していますが、キューブ米を追加することによりラインナップが豊富になることから、担当課と協議していきたいと思えます。



江間田信一が問う

LRT導入に伴う対応について

問 本整備工事の進捗状況や、まちづくりと一体となった取り組みについて問う。

答 町長 県道宇都宮茂木線においては、

道路拡幅工事や電柱、水道管などの移設工事を、町道部においては用地取得状況に応じて拡幅工事や擁壁工事などを進め、現在は街路樹の伐採工事を実施しています。また、年度内には、雨水管の移設や軌道部の工事に着手する予定です。整備状況などに関する町民や工業団地従業員への説明については、地区座談会や工業団地連絡協議会に適宜説明したり、工事情報チラシ、ホームページへの記載などをしていきます。今後は、より多くの方に整備状況に関する情報がお届けできるように、「広報

はが」や芳賀チャンネルなどを活用した情報発信に努めます。

問 LRTと公共交通の活用方法は。

答 町長 LRTを中心とした新たな公共交通ネットワークを構築するために、乗り換えの拠点となるトランジットセンターの役割が大変重要であると考えています。トランジットセンターの機能や規模、配置などについては、芳賀・宇都宮基幹公共交通検討委員会に設置している交通結節点等基盤整備部会において意見をいただき、今年度中に具体的な整備計画を固めます。LRTとの交通ネットワーク構築については、バス路線の再編や、工業団地内における循環バスの導入、ICカー

ド導入などについて、宇都宮市や隣接市町と連携しながら、交通事業者や関係団体などで構成する芳賀町総合交通戦略会議で検討を進めています。

問 かの森公園とけやき台公園の再整備について問う。

答 町長 かの森公園については、令和元年度には庁内ワーキンググループによる整備コンセプトやターゲットを検討しました。また、工業団地従業員へのアンケート調査を実施し、再整備に期待する機能や施設について意見をいただきました。令和2年度は、宇都宮大学と共同研究、整備や運営に関する民間活力の導入について検討を行っています。今後、整備の方針が固

まり次第報告します。けやき台公園はサッカー場として、休日を中心に利用していただいています。年間を通じて、利用者が見込まれていることや大会なども行われていることから、現時点での施設再編は考えていません。

問 町内4か所のLRT停留場について

答 町長 LRT停留場の名称については、芳賀・宇都宮LRT停留場名称検討委員会を設置し、利用者や地域から親しまれる名称となるよう、地域の特性などを踏まえながら検討を進めています。住民や利用者の皆さまに「私たちの駅」というマイルール意識の醸成を図っていくことが重要ですので、住民参加の具体的な取組方法

についても検討を行う予定です。住民参加の取組結果を踏まえ、検討委員会において名称候補を選定し、軌道整備事業者である本町及び宇都宮市において年度内を目途に決定する予定です。

問 停留場の選定基準は。

答 都市計画課長 選定基準については、停留場の所在地の町名や地域を表す名称、停留場周辺の公共施設や歴史文化施設の名称、停留場周辺の交差点や鉄道駅の名称に加え、これらの名称と位置関係の分かる文言を組み合わせた名称で調整しています。

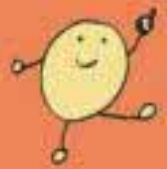
ちょこっと

まめ知識

わかっていそうでわかっていない

議会のことを説明します。

今回は委員会編です。



議会運営委員会とは



議会運営委員会ってよく聞くけど何をする委員会なの？

なし子

議会の運営に関すること、議会の会議規則、委員会に関する事項を審議するところなんだ。



はがまる



芳賀町の議会運営委員会は具体的に何をやってるの？

なし子

定例会の招集日の7日前までに議会運営委員が集まって、定例会の会期や日程、一般質問・陳情・請願の内容を審議しているよ。



はがまる



なるほど！そうなんだ！ところで委員会の人数、メンバーは誰がいるの？

なし子

人数は、議会運営委員長と副委員長と委員5人の計7人だよ。議会運営委員会を開催する時は、そこに議長、副議長がオブザーバーとして、町長、副町長、総務企画部長も議案の説明をするため出席しているよ。



はがまる



議員の半分が議会運営委員なんだ。知らなかった！会議には議長、町長も参加するのね。覚えておくれ。

なし子

常任委員会とは



常任委員会って何？

なし子

予算や決算の審査、議案、陳情・請願等を詳しく審議するために設置されている委員会のことだよ。芳賀町には、①総務、②教育民生、③産業建設④議会広報の4つの常任委員会があるよ。他市町村では名前が違ったり、委員会の数もまちまちだよ。



はがまる



そうなんだ。芳賀町では何で4つの常任委員会に分かれているの？

なし子

教育民生は住民生活部・教育委員会について、産業建設は建設産業部・農業委員会について、総務は他の常任委員会に属さないことをより深く調べるために手分けしてやっているんだよ。



はがまる



所管する業務に分かれて審査を行っているという訳ね。

なし子

もうひとつの議会広報は議会だよりを作っているよ。



はがまる



そうなんだ！たくさん知らないことが分かったわ。ありがとう。

なし子



直井 賢治さん
(稲毛田)

希望のLRT

最近、宇都宮方面に向かうとLRT路線の建設工事があちこちで見受けられます。LRTは少子高齢化と人口減少が重なり地域が生き抜くために多くの人が健康で元気に生活できる活力ある街を維持するための交通手段として導入されることになりました。2000年代の頃から新交通システムを検討し、その後、LRT計画が掲げられました。完全新線されるのは日本初とのことで、芳賀町に住んでいる私は驚きとともに優越感がふつつつ湧き上がってきました。

2022年3月開業予定で、橋梁・車両基地の整備そして清原工業団地内ではレール敷設工事が着工されていました。このような状況を見ていると、もうここまで来ているんだという気持ちと今後、沿線沿いの風景はバージョンアップされ一変するだろうと思うと胸が高鳴ります。完成時にはLRTに乗って、宇都宮・東京方面に出かけている自分を夢見ているこの頃です。



田中 芳成さん
(芳志戸)

農業の難しさ

私は兼業農家の家で育ち、小さな頃から「米作り」と関わってきました。祖父や父が作るお米を「いつもおいしいお米をありがとう。」と言ってもらえる事に喜びを感じ、自分も人に喜んでもらえるような農家を目指すようになったのは中学時代の頃からだと思います。専門校を経て、さまざまな分野の農業体験を行うにつれ、思いは大きく確実なものになりました。農産物の生産は天候などにも左右され、楽な仕事ではありません。農業離れの増える中、担い手をもっと増やしていけたらと思います。これには、地元農家さんの協力などで農業体験、道の駅やSNSなどを使用して芳賀町産の特産品、良い町のアピールなどもできたら良いと思います。

最後に、分野は問わず消費者さんに喜んでもらえる芳賀町に期待したいと思います。



越口 政典さん
(北長島)

自然災害への備え

近年、台風や前線による水害が各地で起こり、甚大な被害をもたらしています。地球温暖化により台風の発生位置や経路も変化し、年々身近に危険を感じるようになってきました。

私が住む地区でも大雨により野元川が増水し、越水や堤防が決壊する恐れ、また土砂災害警戒地区では、地盤沈下や土砂崩れが心配されています。避難所に指定されている芳賀南小学校においては、五行川が氾濫した場合の浸水想定地区に指定されており、避難所として安全なのか不安に思います。予想を超える雨量を想定し、洪水による被害を最小限に防げるよう危険箇所の調査及び河川の整備、また、各地域では防災訓練を通して避難への意識改革と避難時の連携を定期的確認することが必要だと思います。

住民が安心して暮らせる町を目指して、私も微力ながら活動をして参りたいと思います。

議会日誌

- 8月
- 3日・決算審査（～11日）
 - 20日・例月現金出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
 - 21日・議会運営委員会
 - ・議員全員協議会
 - 25日・芳賀中部上水道企業団水道運営協議会
 - 28日・栃木県町村議会議長会監査
- 9月
- 1日・第7回芳賀町議会定例会（～11日）
 - ・議会広報常任委員会
 - 2日・芳賀郡市町議会議長会定例会
 - ・芳賀広域行政事務組合議会定例会
 - 10日・委員長等連絡会議
 - 18日・例月現金出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
 - ・町奨学金選考委員会
 - 23日・芳賀中部上水道企業団定例会
 - ・芳賀郡中部環境衛生事務組合定例会
- 10月
- 5日・芳賀郡市町議会議長会正副議長行政視察（～7日・広島県、香川県）
 - 9日・戦没者慰霊祭
 - 13日・教育民生常任委員会
 - 14日・議会広報常任委員会
 - 15日・総務常任委員会
 - 20日・例月現金出納検査
 - ・芳賀中部上水道企業団例月出納検査
 - ・議会広報常任委員会
 - 22日・芳賀北部広域行政推進協議会要望行動
 - 26日・第2回栃木県町村議会議長会・研修会



今月の表紙



10月2日に天神延生橋付近の彼岸花を撮影してきました。

2007年から5年かけて上延生地区の農地水事業で植えた約5,000球の彼岸花が見ごろを迎えていました。来年も楽しみです。

議会だよりはホームページでも公開しています

本会議の会議録をはじめ、議会情報も随時お知らせしています。

掲載しきれなかった一般質問は、会議録で見られます。アクセスしてみてください。

スマホやタブレットでも！



芳賀町議会

検索

編集室

2020年は東京で2回目となるオリンピックが開催され日本にとって、大きな節目の年となるはずでした。そして、十二支のスタートとなる子(ね)年で新しい運氣サイクルのはじまりともいわれています。子年に起こった主な出来事としては、1960年は日本でカラーテレビ放送がスタートした年でした。1972年は、田中角栄首相が訪中し、北京で周恩来首相と共に「日中共同声明」に署名したことにより、

敗戦後長きに断絶した国交が回復した年でもありました。

今年もあと残り2か月となりますが、新型コロナウイルスに負けないよう皆さんで新しい生活様式を守り、1日でも早く終息し、来年こそ東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを期待したいものです。

（委員 江間田 信一）
議会広報常任委員会

委員長 岡田 年弘
 副委員長 山口 菊一郎
 委員 江間田 信一
 委員 小林 信二
 委員 小林 俊夫



▲秋晴れの運動会(芳賀東小)